

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 1 区分

【発行日】平成 18 年 2 月 23 日 (2006.2.23)

【公開番号】特開 2005-32703 (P2005-32703A)

【公開日】平成 17 年 2 月 3 日 (2005.2.3)

【年通号数】公開・登録公報 2005-005

【出願番号】特願 2004-57989 (P2004-57989)

【国際特許分類】

F 2 1 V 8/00 (2006.01)

G 0 2 B 6/00 (2006.01)

G 0 6 F 3/02 (2006.01)

H 0 1 H 9/18 (2006.01)

H 0 1 H 13/02 (2006.01)

H 0 1 H 13/712 (2006.01)

F 2 1 Y 101/02 (2006.01)

【F I】

F 2 1 V 8/00 6 0 1 B

G 0 2 B 6/00 3 3 1

G 0 6 F 3/02 3 1 0 G

H 0 1 H 9/18 A

H 0 1 H 13/02 A

H 0 1 H 13/70 E

F 2 1 Y 101:02

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 12 月 27 日 (2005.12.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 7】

また、導光体 3 のドットパターン部 3 b は、照光させる入力キー 6 a のそれぞれの下方に位置するように設けられている。図 3 は導光体 3 を上面から見た図であるが、導光体 3 は透明材料であるため、下面 3 d のドットパターン部 3 b を視認することができる。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 9】

また、4 個の光源体 2 __ 1 ~ 2 __ 4 は、照光入力装置 L K の長手方向に対し、中央部より端面部側に配置し、かつ互いに中央部方向に向き合うように、第 1 の光源グループ G 1 および第 2 の光源グループ G 2 として配置される。結果、光源体 2 から射出された光が導光体 3 の全体に効率良く供給される。さらに、導光体 3 の穴部 3 h は光源体 2 の発光面側が円弧状の形状を有しているため、導光体 3 に入る光量を効率良く拡散し導光することができる。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 3 5

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 3 5 】

【図 1】 本発明にかかる照光入力装置の構成を示す分解斜視図

【図 2】 図 1 に示した照光入力装置の部分断面図

【図 3】 図 1 に示した光源体と導光体との関係を示す図